

[052] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10220>

出版情報：語文研究. 52/53, 1982-06-10. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

目次

今井源衛教授略歴

今井源衛教授主要著作目録

「我身にたどる姫君」のユーモア……………	今井源衛(1)
有島武郎と『復活』劇……………	江頭太助(11)
——『或る女』への道程(二)——	
『英和俗語辞典』の補訂をめぐって……………	原口裕(23)
『小説神髓』論……………	石田忠彦(33)
——小説の裨益について——	
風雅論の定位……………	井上敏幸(42)
——刊本『爰の小文』冒頭文と「幻住庵記」——	
『平家物語』長門本の一面……………	橋口晋作(56)
——住吉明神関係記事をめぐって——	
朝鮮通信使と石川丈山……………	若木太一(65)
——「日東の李白」考——	
玉葛の跡……………	板坂耀子(81)
——本居宣長「菅笠日記」に見る一古典研究者像——	

萩市見島の方言アクセント卑見……………	添田 建治郎(94)
昭和十八年の石川淳の文芸時評について……………	狩野 啓子(107)
万葉集卷十四に於ける平安時代の性格……………	工藤 博子(114)
——用字と上代特殊仮名遣をめぐって——	
国語資料としてみた高瀬字山の明律注釈書について……………	柏原 卓(126)
「塵埃」論……………	瓜生 清(136)
——塵勞生活と「予」の形象をめぐって——	
『真幸問本居問答』の成立について……………	白石良夫(144)
宣長答	
△健康な肉体Vの発見……………	花田 俊典(156)
——坂口安吾「女体」から「恋をしに行く」へ——	
活用型の変化から見た上方絵入狂言本……………	山 泉 浩(167)
——二段活用的一段化の場合——	
万象亭の戯作……………	園 田 豊(182)
「自然」の意味……………	飯倉洋一(191)
——秋成の理想と現実——	
学会彙報……………	(204)